

平成15年度 施策評価表

○総合計画における位置付け等

平成15年6月20日記入

基本目標	Ⅱ ▼ ゆとりある みどり豊かな環境共生都市をめざして	施策コード	22320
政策名 (章)	第2章 水やみどりの保全と創造に努めます	評価担当課	環境保全部 ▼
基本施策名 (節名)	第2章 水やみどりの保全と創造に努めます		みどり対策課
施策名	身近なみどりの創造	課長名	柳川 勝

1 施策の概要・目的

公共施設整備における緑化や開発行為等の際の緑地確保、市民植樹事業や生垣設置促進事業などにより、市民に身近なところでのみどりの創造及び確保に努める。

2 施策の現状

公共施設緑化の推進や開発行為等での緑化促進、また、市民植樹事業などにより、市民、事業者、行政が協働して、みどりの創造に努めている。また、保存樹林・樹木制度では、所有者の協力により、市街地におけるみどりを確保している。

3 総事業費及び人員

(1) 施策に要している総事業費

49,071 千円……構成事務事業全体の事業費合計(人件費含む)

(2) 市民1人当りの事業費

80 円/人……人口は、61.6 万人とした。(平成15年4月1日現在人口)

(3) 全施策中の順位(事業費)

この施策の市民一人当たり事業費は、全123施策のうち、第 91 番目です。

(4) 施策に要している人員

0.39 人……構成事務事業全体の人員合計

4 評価指標

指標	指標名および指標式	指標の意図	現状値と目標値			目標
			現状	目標	達成度	目標年度
指標1	開発行為等緑地確保率 当該年度緑地確保面積÷当該年度 開発面積×100	開発行為等での緑 化促進の成果を見 る	現状	15.6 % 単位	0 50 100	目標年度
			目標	10 % 単位	156%	達成度
指標2	市民植樹目標達成率 市民植樹本数÷目標本数(3,000 本)×100	ISOで設定した実 施計画目標値の達 成状況を見る	現状	4,735 本 単位	0 50 100	目標年度
			目標	3,000 本 単位	157%	達成度
指標3	緑地確保目標進捗率 当該年度末緑地確保面積÷平成27 年緑地確保目標面積×100	みどりの基本計画 で設定した緑地確 保目標の進捗状況 を見る	現状	1,442 ha 単位	0 50 100	目標年度
			目標	2,000 ha 単位	72%	達成度

5 必要性…市民ニーズに合っているか、行政需要の変化に対応しているか

市街地におけるみどりは、生活にうるおいと安らぎを与えると共に、ヒートアイランド現象の緩和、防災、景観などの働きをもっており、都市の生活環境の形成において重要性を増している。近年では、ガーデニングがブームになるなど、一人ひとりが身近なところにみどりを求める傾向が高まり、緑化意識が向上している。

6 有効性…期待される効果があがっているか

開発行為等での緑化促進では、15%超の緑地を確保するなど、事業者の理解と協力により大きな成果をあげている。また、市民植樹事業では、目標の植樹本数を達成するばかりでなく、多くの市民が植樹に参加するなど、緑化意識の普及につながっている。

7 効率性…費用対効果が優れているか、もっと大きな効果が得られるものはないか

開発行為等での緑化促進、市民植樹事業などでは、行政の手に寄らず、市民や事業者等の民間の力により緑地確保や緑化推進に取り組んでいる。

8 市民満足度調査結果からの分析(平成15年度調査)

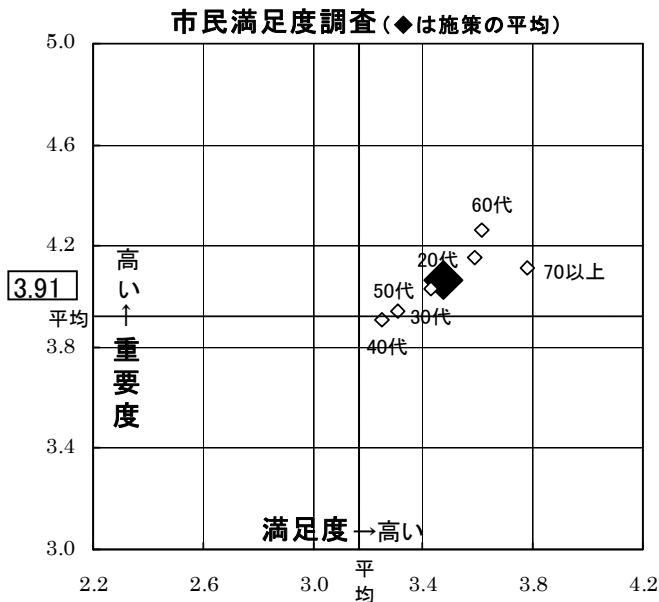
◆この施策の満足度は、3.474で、調査した51施策の中で2番目です。

◆この施策の重要度は、4.063で、調査した51施策の中で20番目です。

◆この施策の改善要望度は、0.417で、調査した51施策の中で30番目です。

◇年齢別にみると、満足度は60歳代以上及び20歳代が高く、30歳代及び40歳代で低くなっています。同様に重要度でも60歳代以上及び20歳代が高く、30歳代及び40歳代で低くなっています。満足度が高いほど重要度も高い傾向がみられます。

市民満足度調査は、基本施策51項目(節)について調査しています。したがって、上位の基本施策が同じ場合は同じ内容となっています。(「〇総合計画における位置付け等」参照)



9 課題…施策を実現するにあたり、課題となっていること等

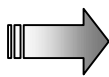
開発行為等での緑化促進は、現行では要綱に基づく行政指導で行っているが、さらに有効性や担保性を高めると共に、公平性を確保していく必要がある。

保存樹林樹木制度については、昭和47年に制度化されて以来、市街地の緑地の保全確保に寄与してきたが、近年、所有者の都合により指定を解除されるケースが多くなるなどの課題がある。

市民植樹事業については、みどりの協会の「花のまちづくり・みどりいっぱい運動」と事業内容が類似しており、統合などの合理化が考えられる。

10 今後の方向性(一次評価)

今後の方向
<input type="checkbox"/> 拡充する
<input type="checkbox"/> 現状維持する
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し



説明及び具体的内容

開発行為等での緑化促進については、担保性や公平性などを確保していくため、条例化を検討すると共に、事業者の創意工夫が活かされるように、屋上緑化など多種多様な緑化手法を取り入れていく。

保存樹林樹木制度については、制度の見直しや市民緑地への移行なども含め、良好な緑地確保の方策を検討する。

市民植樹事業については、みどりの協会の「花のまちづくり・みどりいっぱい運動」と事業統合して窓口を一本化し、市民の手による都市緑化をさらに推進する。

11 2次評価

説明
<input type="checkbox"/> A
<input checked="" type="checkbox"/> B
<input type="checkbox"/> C

12 外部意見

説明

事業や制度の見直しを行いながら、みどりの基本計画にある緑地確保目標を達成できるよう施策の展開を図るべきである。

